

●クジメ

特長:やや小型の魚で、海底の岩かけをすみかにします。冬にたまごを産み、親が守ります。アジュール舞子で写真をとっていると、10~11月にかけてクジメの産卵(さんらん)が見られました。

クジメとたまご



空きカンからでてきたニジギンポ

●ニジギンポ

特長:とぼけた顔をしたかわいい魚です。もともとは、まき貝にたまごを産みますが、海の底にしずんだ空きカンを使うこともあります。ゴミはくなくしたいですね。



アメフラシとたまご

●アメフラシ

特長:貝がらをもたない貝の仲間で、海藻(かいそう)を食べます。刺激(しげき)するとむらさき色の液(えき)をだします。春には黄色いそうめんのようなたまごを産みます。観察するには:海藻が生えた磯(いそ)で見られます。

●ワカメ  
特長:おもしろい貝でおなじみのワカメです。ゆでられる前のワカメは茶色で、ゆでると緑色に変わります。観察するには:波止のかべのすこし深いところに生えています。



ワカメ

●ウミウシの仲間  
特長:ウミウシは貝がらもなくした貝の仲間です。さまざまな形やカラフルなもようがダイバーに人気です。アジュール舞子でも写真のウミウシのほか、シロウミウシ、ヒロウミウシ、ミヤコウミウシなどのウミウシが見つかっています。



サクラミノウミウシ

●ナマコの仲間  
特長:イモムシのようで見た目は不気味ですが、海底の有機物(ゆうきぶつ)を食べて、海をきれいにしてくれるいきものです。観察するには:岩場や砂地(すなじ)の海底でふつうに見られます。

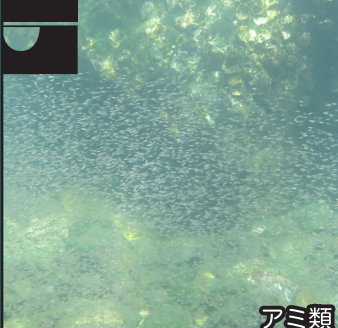


マナマコ



アマモ

●アマモ  
特長:アマモは陸から海にもどった植物で、砂地(すなじ)の海底に根をはって草原をつくります。観察するには:すこし深い砂地の海底に生えています。海があれた次の日、打ち上げられていることがあります。



アミ類

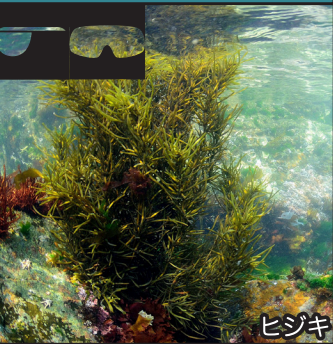
●アミ類  
特長:エビやカニの仲間の幼生(ようせい)です。いきものがへる冬、小魚にとって大事なエサになります。観察するには:岩かげなど流れの弱いところに集まっています。



メバル

●メバル  
特長:大きな目がかわいい魚です。体をななめにしてストップし、上を流れてくるエサを待ちふせします。観察するには:浅い岩場や藻場(もば)で、むれているメバルのこどもを見られます。

●ヒジキ  
特長:食べられる海藻(かいそう)です。海面に向かって、ほうき形にのびます。海藻のしげみには、ワレカラやヨコエビなどがすみつきます。観察するには:浅い磯(いそ)の岩に生えています。



ヒジキ

●アイナメ  
特長:代表的な根魚(ねざかな)で、大きくなります。産卵時期(さんらんじき)の冬、オスの体が、地味な茶色から、かがやくような黄金色にかかります。すこし深い海底の岩かげにいます。

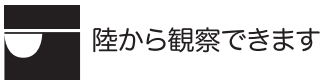


婚姻色(こんいんしょく)がでたアイナメのオス

●タツノオトシゴの仲間  
特長:魚っぽくない体で、すばやく泳ぐことが苦手です。クルクルとしゃぼを藻(も)にまきつけて、潮(しお)に流されないようにします。オスにたまごを入れるふくろがあり、子育てをすることが知られています。



アマモにしゃぼをからめるタツノオトシゴの仲間



陸から観察できます



海で観察できます

# アジュール舞子いきもの図鑑 (海のいきもの / 冬春)

撮影・協力 宮道成彦 小林令伊子